

令和3年度業務実績報告書 修正表

公立大学法人 青森県立保健大学

ページ	見出し、小項目 No.	修正前	修正後	備考
10	(2) 財務その他の状況について	<p>財務内容の改善に関する目標を達成するための措置については、6項目すべてをA評価(100%)とした。</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、本学の施設貸出を休止した時期もあり、令和3年度の施設の有料開放は、前年度と比較して21.5%、金額で11.0%下回った。</p> <p>・外部資金の獲得件数は52件、受入総額は数値目標である平成29年度～令和元年度の平均額を上回った。</p>	<p>財務内容の改善に関する目標を達成するための措置については、6項目すべてをA評価(100%)とした。</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策のため、本学の施設貸出を休止した時期もあり、令和3年度の施設の有料開放は、前年度と比較して<u>17.7%</u>、金額で<u>9.9%</u>下回った。</p> <p>・外部資金の獲得件数は<u>55</u>件、受入総額は数値目標である平成29年度～令和元年度の平均額を上回った。</p>	修正
12	【2】学生募集方策、小項目 No. 3	<p>イ・・・(略)・・・</p> <p>(イ) 教員による高校訪問は、県内34校、県外20校に訪問し、例年と同様の訪問件数であった。県内高校には、昨年度新設した「地域定着枠」について別に作成した資料を配布し、説明を強化した。</p> <p>・・・(略)・・・</p>	<p>イ・・・(略)・・・</p> <p>(イ) 教員による高校訪問は、県内34校、県外20校に訪問し、<u>訪問件数としては昨年度と比べ減少した。減少した主な理由としては、新型コロナウイルスの影響により、高校側から中止の申し出を受けたことである。</u>県内高校には、昨年度新設した「地域定着枠」について別に作成した資料を配布し、説明を強化した。</p> <p>・・・(略)・・・</p>	修正
13	【2】学生募集方策、小項目 No. 4	<p>ア・・・(略)・・・</p> <p>(ウ)・・・(略)・・・</p> <p>また、高校生とその高校の卒業生との懇談は、大学見学の実績が1校だったため、昨年度は実績がなかった。</p>	<p>ア・・・(略)・・・</p> <p>(ウ)・・・(略)・・・</p> <p>また、高校生とその高校の卒業生との懇談は、大学見学の実績が1校だったため、<u>今年度</u>は実績がなかった。</p>	修正
22	【9】大学院生の教育と研究推進(博士前期課程)、小項目 No. 20	<p>&lt;数値目標の結果&gt;</p> <p>地域社会への具体的成果の還元件数は研究科全体で34件(うち博士前期課程では22件)であった。内容は、「論文受賞」が2件、「保健・医療・福祉分野の関係機関での業務改善につながる成果の提供」が1件、「地域の人材育成につながる成果」として17件、その他が2件であった。</p>	<p>&lt;数値目標<u>達成の程度</u>&gt;</p> <p>地域社会への具体的成果の還元件数は研究科全体で34件あった。<u>博士前期課程では22件の報告があり、内訳は</u>、「論文受賞」が2件、「保健・医療・福祉分野の関係機関での業務改善につながる成果の提供」が1件、「地域の人材育成につながる成果」として17件、その他が2件であった。</p>	文言整理

ページ	見出し、小項目 No.	修正前	修正後	備考
23	【10】大学院生の教育と研究推進 (博士後期課程)、小項目 No. 23	<p>&lt;数値目標の結果&gt;</p> <p>学会発表件数は、1.47 件/人であった。</p> <p>学術雑誌への投稿件数は、0.64 件/人であり、受理件数は 8 件、著書が 4 件あった。</p>	<p>&lt;数値目標達成の程度&gt;</p> <p><u>各学年における学会発表件数は、1 年生で 0.80 件/人 (4 件/5 人)、2 年生で 2.75 件/人 (11 件/4 人)、3 年生で 1.30 件/人 (13 件/10 人) となった。</u></p> <p><u>学術雑誌への投稿件数は、1 年生で 0 件/人 (0 件/5 人)、2 年生で 1.75 件/人 (7 件/4 人)、3 年生で 0.50 件/人 (5 件/10 人) 並びに修了後 1 年以内の修了生で 0.67 件/人 (2 件/3 人) となった。</u>受理件数は 8 件、著書が 4 件あった。</p>	修正
23	【10】大学院生の教育と研究推進 (博士後期課程)、小項目 No. 23	<p>&lt;自己評価の理由&gt;</p> <p>数値目標である学術雑誌への投稿件数 1 件/人以上は達成できなかったものの、各学年における学会発表件数は目標を超え、計画に基づいて、研究発表、学術雑誌への投稿並びに学内研究費助成制度への応募の促進をしたことから、自己評価を A とした。</p>	<p>&lt;自己評価の理由&gt;</p> <p><u>学会発表件数、学術雑誌への投稿件数ともに、目標を達成できない学年もあったが、</u>計画に基づいて、研究発表、学術雑誌への投稿並びに学内研究費助成制度への応募の促進をしたことから、自己評価を A とした。</p>	修正
34	【18】研究活動の積極的な推進、小項目 No. 43	<p>ア . . . (略) . . .</p> <p>外部資金獲得のための情報提供を適宜行い、外部資金の獲得件数は、科研費 40 件 (代表研究 28 件、分担研究 12 件)、科研費以外の研究費 12 件 (共同研究 4 件、受託研究 4 件、公募型外部資金 4 件) の計 52 件であり、受入総額は、45,491,175 円となった。</p>	<p>ア . . . (略) . . .</p> <p>外部資金獲得のための情報提供を適宜行い、外部資金の獲得件数は、科研費 <u>42</u> 件 (代表研究 28 件、分担研究 <u>14</u> 件)、科研費以外の研究費 <u>13</u> 件 (共同研究 4 件、受託研究 4 件、公募型外部資金 <u>5</u> 件) の計 <u>55</u> 件であり、受入総額は、<u>48,059,723</u> 円となった。</p>	修正
38	【22】保健医療福祉人材への継続教育、小項目 No. 49	<p>ア 大学院の教育機能の解放の試みとして、大学院特別講義を保健師に解放した。</p> <p>. . . (略) . . .</p>	<p>ア 大学院の教育機能の<u>開放</u>の試みとして、大学院特別講義を保健師に<u>開放</u>した。</p> <p>. . . (略) . . .</p>	修正
47	【32】外部資金の獲得、小項目 No. 69	<p>外部資金の獲得件数は、科研費 40 件 (代表研究 28 件、分担研究 12 件)、科研費以外の研究費 12 件 (共同研究 4 件、受託研究 4 件、公募型外部資金 4 件) の計 52 件であり、受入総額は、45,491,175 円となっている。</p> <p>&lt;数値目標の結果&gt;</p>	<p>外部資金の獲得件数は、科研費 <u>42</u> 件 (代表研究 28 件、分担研究 <u>14</u> 件)、科研費以外の研究費 <u>13</u> 件 (共同研究 4 件、受託研究 4 件、公募型外部資金 <u>5</u> 件) の計 <u>55</u> 件であり、受入総額は、<u>48,059,723</u> 円となっている。</p> <p>&lt;数値目標の結果&gt;</p>	修正

ページ	見出し、小項目 No.	修正前	修正後	備考
		年間の外部研究資金の獲得額は、45,491,175円であり、過去3年間（平成29年度～令和元年度）の平均32,881,500円を上回った。	年間の外部研究資金の獲得額は、 <u>48,059,723</u> 円であり、過去3年間（平成29年度～令和元年度）の平均32,881,500円を上回った。	
48	【33】予算の適正かつ効率的な執行、小項目 No. 71	本学の主要委託業務である警備・設備保全業務、清掃業務、植栽業務を3年間の複数年契約とすることで、運営経費の抑制を図っている。	本学の主要委託業務である警備・設備保全業務、清掃業務、植栽業務を3年間の複数年契約とすることで、運営経費の抑制を図り、 <u>全体の金額ベースでは8.54%前年度を下回った。</u>	文言整理
49	大項目評価 IV 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	・・・(略)・・・ 令和3年度の施設の有料開放は、前年度と比較して21.5%、金額で11.0%下回った。	・・・(略)・・・ 令和3年度の施設の有料開放は、前年度と比較して <u>17.7%</u> 、金額で <u>9.9%</u> 下回った。	修正
	その他（全体の文言の統一）	<数値目標の結果>	<数値目標 <u>達成の程度</u> >	文言整理